

知的交流の拠点

東洋英和女学院大学で学問の扉を開く



# 第6回 描く -芸術系にとどまらず理系・文系でも

藪野 健

日本藝術院会員  
早稲田大学名誉フェロー、名誉教授

コーディネーター

藁谷 友紀

東洋英和女学院大学学長  
早稲田大学名誉教授  
慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員

絵の上では自由に好きな人と会え、行きたい場所に行け、生きてみたい時代を描けます。自由に、時、人、場を行き来できるのです。画材の使い方が分からなくても、自分で編み出して描いてみませんか。理系も文系も大歓迎です。ゼロから楽しむスケッチの魅力をお話します。

## 2026. 6.20 [土] 15:00-16:00

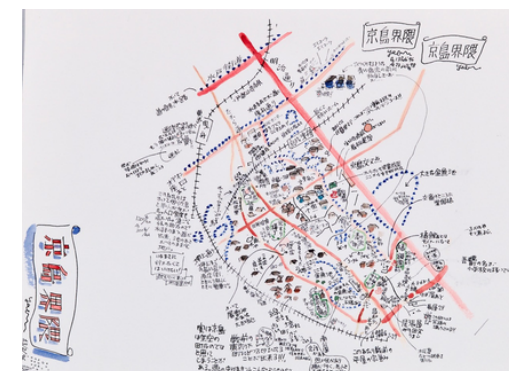
**場 所** 東洋英和女学院大学大学院 201教室 (14:30開場) ※参加は無料  
東京都港区六本木5-14-40 ※現地、オンライン申込み  
※公共交通機関をご利用ください。  
**申 込** 二次元バーコードを読み取り、お申し込みください。 ※オンライン参加もできます。



※今後の開催日程などにつきましては随時更新してまいりますので、本学HPをご確認ください。



「京島3丁目」迷った二人の小学生が話しかける。東京屈指の迷路の町。墨、色鉛筆、水彩。



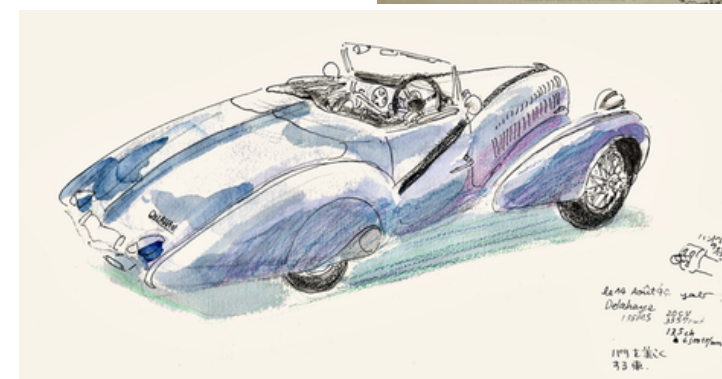
「京島地図」「地図」墨、水彩。かつての金魚池で、第2次世界大戦で空襲を免れ、古い町並みが残る。余りに複雑で私も迷ったほどです。場所は墨田区の京島です。スカイツリーの近くです。その地図です。



「三井タワー」同じ場所で2004年描く。日本橋室町。左三越。墨、色鉛筆、水彩。



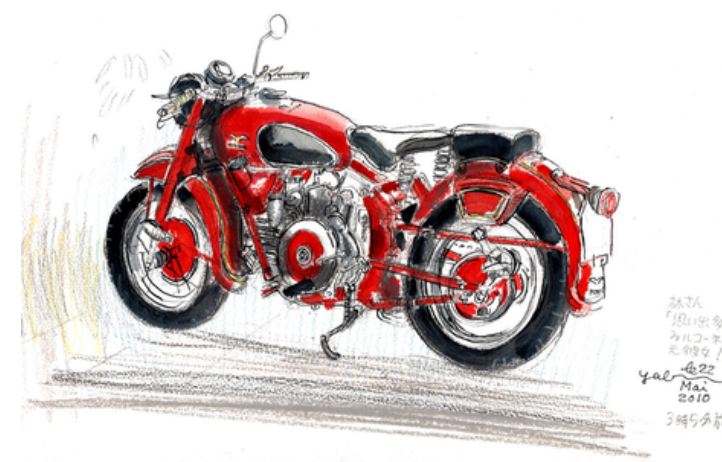
「明治初めの三井バンク」いくつかの資料から再現。左越後屋（三越）。墨、色鉛筆、水彩。



「ドライエ」1994年8月14日。パリ右岸で。墨、色鉛筆、水彩。



「ヴィオレール＝デュックと語る日」200号F。油彩。2024年10月。早稲田大学蔵。11号館展示



「モト グッチ」ファルコーネ1950～67。エンジン側面に高速回転のフライホイールが剥き出しで運転すると危険。イタリアの友人は言います。「美しければ怪我ぐらい。の馬だって落馬があるだろう」と。墨、色鉛筆、水彩。



「東洋英和女学院付近地図」2001年水彩、墨。



「聖ルカが話しかけた日」200号F。油彩。2025年10月二紀展。早稲田佐賀高等学校蔵。